

## はじめに

四日市市教育委員会では、平成15年（初版：平成14年度版）から、本市の学校教育の実情を広く情報発信し、市民の方々にご理解をいただくため、「四日市市学校教育白書」を発行しています。

平成17年度版（第4号）からは、本市の目指す学校教育の基盤として策定した「四日市市学校教育ビジョン」の進捗状況の評価を、この白書のもう一つの役割として位置付け、ビジョンの重点目標に対する達成状況等について記載しています。

令和4年度からスタートした「第4次四日市市学校教育ビジョン」では、「コロナ禍での教訓を踏まえた、誰一人取り残さない“学びの保障”」と「これからの社会を生き抜くための“非認知能力の育成”」の2つの考え方を大切にし、本市の学校教育が目指す子どもの姿と方向性を明らかにするとともに、「子どもにつけたい力」と「子どもの学びを支える学校づくり」の2つの観点から具体的な施策を定めました。

本年度から、第4次四日市市学校教育ビジョンに基づき、28の施策を展開しております。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、授業づくりにおいては、ICT機器の特性を活かしつつ、対面による活動も交えながら、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向かい、取り組みを進めてまいりました。また、四日市版コミュニティスクール運営協議会の活動の再開や学校における働き方改革の推進など、社会に開かれた教育課程の実現を目指した地域と協働した学校づくりのさらなる推進に向けての取り組みも進めてまいりました。

本書では、令和4年度の教育委員会における取り組みの総括として、各施策の実施状況や実績・成果等及び今後の方向性について明らかにしています。

今後も、全ての子どもたちの可能性を最大限引き出し、豊かで充実した人生を切り拓いていこうとする「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」の育成を目指していきます。

令和5年9月

四日市市教育委員会